

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

群馬県 心臓血管センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	対象	ド透I訓	救地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,930,976	25,000	非該当	非該当	7：1

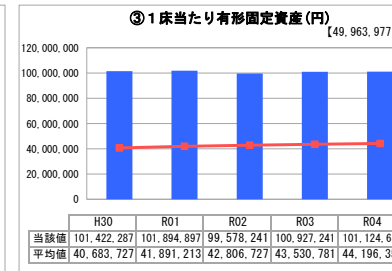
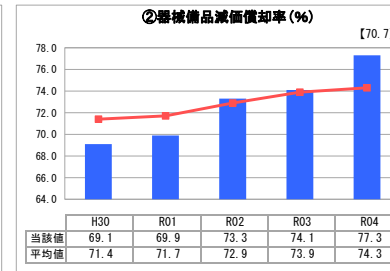
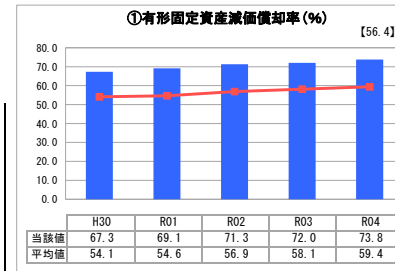
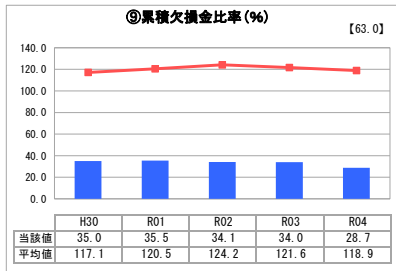
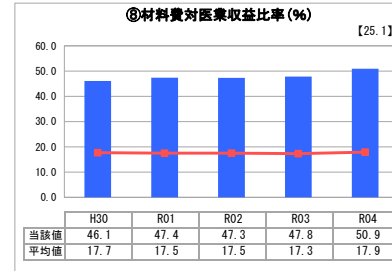
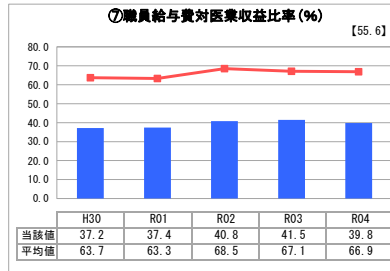
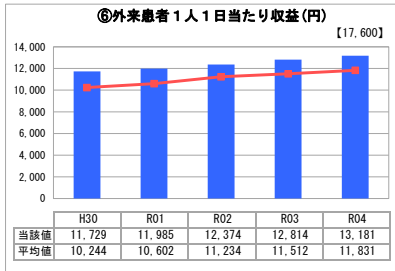
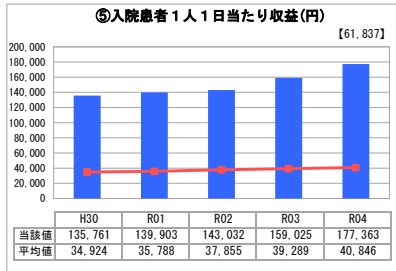
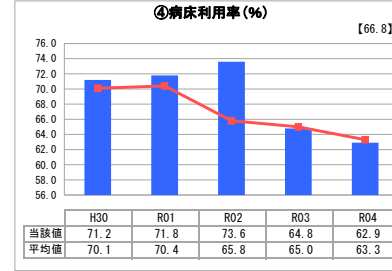
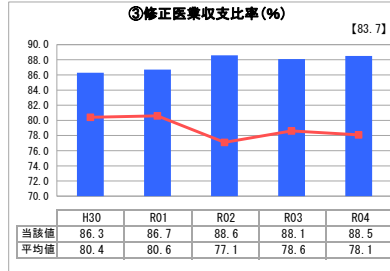
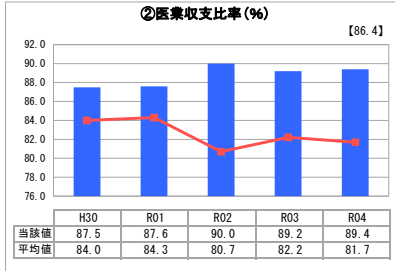
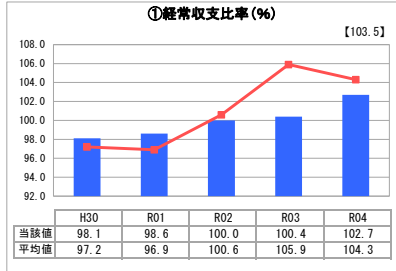
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
195	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	195
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
144	-	144

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

業務分化・連携強化 (従来の形態・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

**I 地域において担っている役割**  
 県立病院の果たすべき役割は、地域において必要とされる医療のうち、採算性等の面から他の医療機関による提供が困難な医療を継続して提供することである。  
 心臓血管センターは、心疾患専門病院として、先進的な医療を安全、確実に提供するとともに、本県心疾患医療の最後の砦として、24時間心疾患救急体制を整えている。また、地域医療支援病院として、県内各地域の医療機関との連携、支援にも積極的に取り組んでいる。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

（時系列比較）低侵襲型の症例の割合が増えたことにより平均在院日数が短くなったため、入院患者数が減少し、④病床利用率も低下したが、手術の増加等により医業収益が増加したこと、新型コロナ関係補助金の増加等により、①経常収支比率、②医業収支比率が改善し、⑨累積欠損金比率は令和3年度決算から改善した。

（平均値比較）材料（特定保険医療材料）使用量の多い手術の割合が高く、⑤入院患者1人1日当たり収益が類似病院平均値よりも高くなっているが、⑧材料費対医業収益比率も類似病院平均値より高いため、共同購入の導入等により安価購入を進めている。

### 2. 老朽化の状況について

（時系列比較）投資抑制方針の下、①有形固定資産減価償却率、②器械備品償却率は上昇傾向となっている。今後も、適正投資額を確実に計測した上で、高度・専門医療の提供に必要な設備整備を確実に行い、キャッシュ・フローの健全化を目指す。

（平均値比較）投資抑制方針の下、②器械備品減価償却率は過去2年度では平均値と同水準にであったが、令和4年度は平均よりもやや高くなった。③1床当たり有形固定資産が類似病院平均値よりも高く、投資が大きくなっている。これは、心疾患の高度先進医療の推進と、本県心疾患医療の最後の砦として、必要な医療設備を整備した結果である。

### 全体総括

令和4年度は、入院患者数の減少や光熱水費の増加等の収支悪化要因があったが、手術数の増加や新規加算の取得等により医業収益が増加したこと、新型コロナ関係補助金等の増加等により、経常収支比率は対前年度比で改善し、3年連続の経常収支の黒字化を達成した。  
 経常収支比率の更なる向上のため、効率的なベッドコントロールによる病床利用率の向上や材料の安価購入のほか、各指標の改善につながる様々な取り組みが必要となっている。  
 今後は「他の医療機関による提供が困難な医療を継続して提供する」という県立病院の役割を果たしつつ、経営改善に取り組む、安定的な黒字化を目指す。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。